



国立公園満喫プロジェクト等推進事業

2019年予算（案）
16,253百万円（11,700百万円）

自然環境局 総務課・自然環境計画課・
国立公園課・国立公園利用推進室・
野生生物課・自然環境整備課

背景・目的

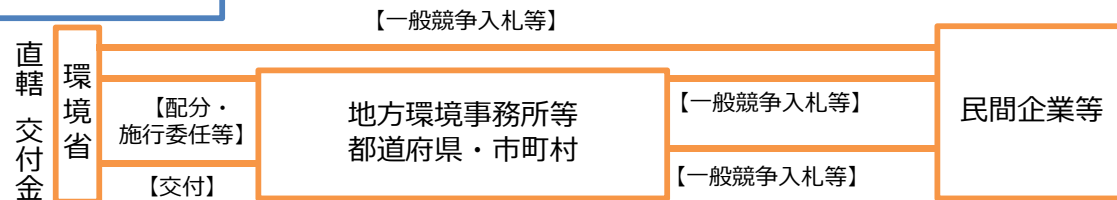
平成28年3月30日に観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」において、『「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは8箇所の国立公園で、「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、2020年までに、外国人国立公園利用者数を年間490万人から1000万人に増やすことを目指す』ことが求められている。これまでに、国立公園の統一的品牌イメージを広く海外に発信するためのプロモーション、ツアーコンテンツの発掘・磨き上げ、利用者数以外の質に関するプロジェクトの評価指標の開発等を実施。

事業概要

先行的、集中的に取り組むを進める8公園を中心に、利用拠点の滞在環境の上質化や多言語解説充実、ビジターセンター等の再整備や機能充実、公園施設の長寿命化対策、宿舎施設の省CO2改修支援等を実施し、国立公園の磨き上げとインバウンド向けの対応機能の強化を図る。また、新宿御苑の活用や一括情報サイト構築等による海外への情報発信を強化することで、国立公園の誘客を強化する。

事業目的・概要等

事業スキーム



期待される効果

観光ビジョンに掲げられた外国人国立公園利用者数に関する数値目標（2020年までに1000万人に増やす）の達成を目指す。

今後の取組

★国立公園の磨き上げ

－利用拠点の滞在環境の上質化



- －野生動物観光のコンテンツづくり推進
- －多言語解説の整備・充実
- －ビジターセンターのインバウンド対応機能強化とVR等を活用した展示の充実



★新たなプロモーション

- －予約まで一気通貫可能な国立公園一括情報サイト構築
- －新宿御苑における国立公園の情報発信強化

地域における誘客力強化

- －地域・事業者と旅行会社・OTA等とのマッチング機会造成
- －マーケティング結果を踏まえたコンテンツの充実等、誘客力強化支援
- －自然ガイドの養成



（★：国際観光旅客税による事業）

基盤的な利用施設の整備

- －登山道・遊歩道の再整備
- －ビジターセンターの充実
- －キャンプ場リニューアル
- －休憩場所（カフェ、ベンチ等）の整備

ステップアッププログラムの推進

- －利用者負担による保全の仕組みづくり
- －自治体・民間団体等と連携して取組を推進

成果の水平展開

- －8公園の成果を全国の国立公園に展開

国立公園を軸とした地方創生

観光消費額の増加

- ・国立公園を目的地に訪れる外国人観光客が増加

民間投資の喚起

- ・上質なホテル、カフェ等の進出
- ・ガイド産業の活性化
- ・宿舎施設の省CO2化投資促進
- ・PPP/PFI手法による整備

国立公園の魅力の再発見・再構築

- ・外国人のみならず日本人も国立公園の魅力を満喫
- ・地域に経済効果をもたらし、一層の自然環境の保全に再投資